各国の移動体向けデジタル放送の動向

瓜生和也*
宮下賢二**
竹内　満**

World Trends of Digital Broadcasting for Mobile Reception

Kazuya Uryu, Kenji Miyashita, Mitsuru Takeuchi

要　旨

デジタル放送は，欧米及び日本を始めとする各国の標準化機関や企業で企画・開発が行われ，この10年ほどの間に相次いでサービスが開始されている。

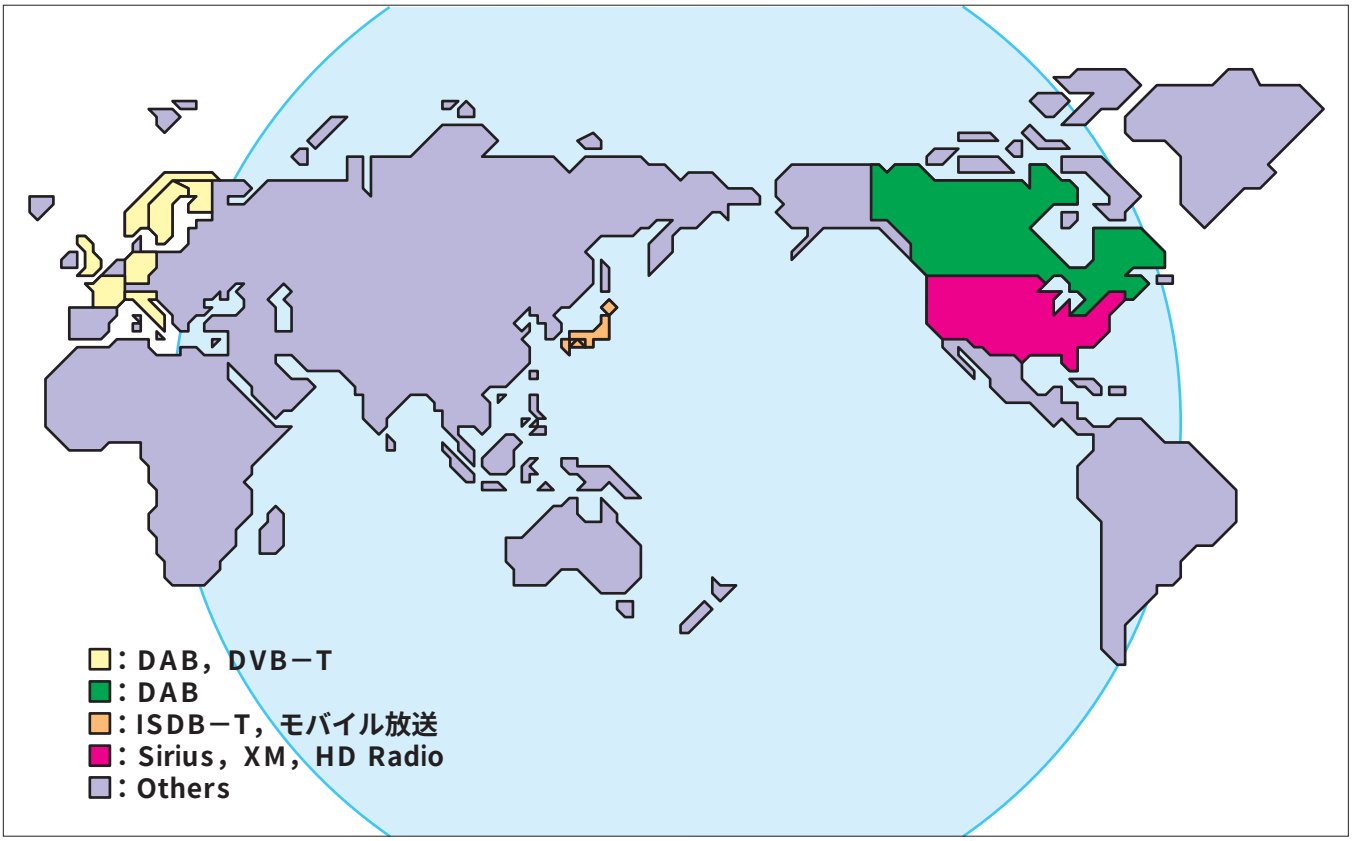
放送波をデジタル化することによるメリットは，画像や音声の品質向上，多チャンネル化，マルチメディアサービスの実現など多岐に及ぶが，もう一つの重要な特長として，伝送方式や放送システムの工夫により，自動車のような移動体でも安定した受信が可能になることが挙げられる。

移動体受信に適した伝送方式として，地上波ではOFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)が主流になっている。OFDMを採用したデジタル放送の代表例には，DAB(Digital Audio Broadcasting)やISDB−T(Integrated Services Digital Broadcasting−Terrestrial)がある。

放送システムとしては衛星波と地上ギャップフィラーを併用する方式が開発されており，既にこの方式を用いた放送が北米の異なる２社(Sirius Satellite Radio社，XM Satellite Radio社)でほぼ同時期に実現している。日本でも，モバイル放送が近々サービスを開始する予定である。

また北米では，既存のラジオ放送波にデジタル変調波を重畳するIBOC(In−Band On−Channel)方式がiBiquity Digital社により実現しており，各社が成否を競う段階に入りつつある。

当然のことながら自動車メーカーも注目し導入を始めているところであり，車載デジタル放送受信機は我々にとって重要な開発アイテムになっている。



各国の移動体向けデジタル放送

各国で実施又は計画されているデジタル放送のうち主なものを示す。

*三田製作所　**自動車機器開発センター